

令和7年度 第2回今治市民提言会議 会議録

- 1 日 時 令和7年8月1日（金）午後3時00分～午後4時30分
- 2 会 場 今治市役所 第2別館11階 特別会議室3号
- 3 内 容
- 1 開会
 - 2 議題
 - （1）今治市総合計画基本構想（案）について
 - （2）今治市総合計画のデザインコンセプト（案）について
 - 3 閉会
- 4 出席者
- ＜今治市民提言会議 委員＞
- 井上 衣美 小笠原 孝子 越智 人史 原田 瑞紀
廣川 怜史 森 譲寛（会長）
- ＜議事担当課＞
- （市民が真ん中課）尾崎課長補佐、重松係長、安部主査
- ＜外部事業者＞
- （有限責任監査法人トーマツ）玉井 智文
- ＜事務局＞
- （市民が真ん中課）中田課長、渡邊課長補佐、松田係長、上甲主査
- ＜欠席者＞※意見書提出
- 村上 嘉一 八木 伸樹（副会長）

日 時 令和7年8月1日(木) 15:00～16:30

場 所 今治市役所第2別館11階 特別会議室3号

※議事内容1および3については省略 ※会議終了後、意見書を収得

	(議事1 議題「今治市総合計画基本構想(案)について」)
尾崎	(今治市総合計画基本構想(案)について説明)
委員	総合計画基本構想は10年後の今治市の姿を描いている計画である。職場を選ぶのは20代前半になるため、今の中学生に総合計画の授業を行い、今治市に帰ってきたいと思える、わくわくする内容を伝えることが出来れば良い。市外の大学に在学している今治市出身の大学生に、総合計画を配布する等、今治市に帰ってきたくなる情報の発信の仕方を行うのも一案である。 香川県丸亀市の行政施設では、市民からまちづくりについて意見を聴取する仕掛けも施されている。は一ぱりーや図書館等のパブリックな場所で、若年層が気軽にまちづくりに参加できる仕掛けをつくり、若年層の意見を集めることも一案である。
委員	総合計画を教育現場の教材として、小学校、中学校、高校と段階を踏んで、児童・生徒がまちづくりについて考える機会を年に1、2回持つことができるという。 HPに総合計画を掲載しても、市民はあまり見ないと考える。広報を通じて、毎月1回、施策大綱の詳細な説明等の総合計画の具体的な紹介を行う紙を配布するのも一案である。
委員	授業参観で計画を使用することにより、親子で10年後の今治市について考えることができる。 20代・30代への計画の周知を考え、YouTubeやTikTokを活用するのも一案である。また、FC今治の試合やイベント等の市民が集う場に、総合計画策定等の市の取組について掲示するのも効果的である。
委員	総合計画を届ける対象によって、重点を置いて発信する内容は異なる。例えば、高齢者には医療関係について、地域事業者には雇用や賑わいについての情報を重点的に発信するべきである。 首長の発言が総合計画と連動していることが大事で、総合計画に沿ったまちづくりを行っていることを市長にアピールしてほしい。
委員	紙とデジタルの二本柱で情報発信を行うことで、まちとして一つになれると考える。SNSを活用するのみならず、人が集まる場所や、病院等の生活の導線に掲示するのも効果的である。
委員	現役世代はSNSやYouTubeも自分の興味関心がある情報のみを享受しているため、現役世代に情報を届けることが最も困難である。学生に向けて総合計画を周知させるためには、授業に組み込むのが効果的である。
委員	生活の導線で、総合計画の情報を掲示することは大切だと考える。企業内で、総合計画について話題に挙げられることで、賛否はあれ、より多くの市民が総合計画について議論することができる。

委員	ふるさと納税をしている方に、総合計画を送付することで関係人口創出を図ることも一案である。
委員	地元に戻ってきたいと思うための施策も大事だが、ここで働きたい、ここに住みたいと思う人を囲い込むための周知も必要。市内企業へ就職セミナー等の際に配布してもらったり、イオンモール新都市等市外からの来客が見込まれる施設も活用されたい。
委員	各委員からの意見のとおり、ターゲット別に考える必要がある。高齢な方には敬老会等を通じた告知、社会人にはイベントのほか、商工会議所や法人会、企業を通じたセミナーや啓蒙活動も検討されたい。
	(議事2 議題「今治市総合計画のデザインコンセプト(案)について」)
尾崎	(今治市総合計画のデザインコンセプト(案)について説明)
委員	A案が良いと考える。橋は今後組み込むとのことであるが、施設等のランドマークがわかりやすく、市民も自身のまちをデフォルメしている感覚を得ることができ、親近感が湧く。今後建設される予定の今治版ネウボラ拠点施設や新庁舎等のイラストがあると、市民も期待できる。
委員	総合計画は、若者に向けた計画であるため、C案がポップでキャッチーなイラストで良い。ランドマークになる施設や今後の計画に組み込まれる予定の要素を地図どおり配置してほしい。
委員	A案が最も画期的な雰囲気があり、ランドマークが見やすい。追加してほしい要素として、造船やタオルを追加し、より今治の産業を押し出してほしい。また、「世界へ」の「世界」の印象が少し弱いため、「世界へ」を専門家によるデザインでより強い印象にしてほしい。
委員	A案が良いと考える。
委員	A案が良いと考える。今治の良い部分は、自然である。いずれのイラストでも、今より緑が減っていく印象を受けるため、温泉や里山をより大きく描いてほしい。
委員	A案が良いと考える。一方で、島しょ部にこれほど多くの建物が建てられてしまうのかと気になった。自然の豊かさも瀬戸内しまなみの良さであり、大三島は農業、伯方は造船、市内はより素敵な場所があるため、各地域の特色がより描かれると良いと考える。
委員	今治市に帰ってくる方に向けたイラストになると良い。資料をどのように、誰に向けて、活用するのかを考えることが重要である。
委員	C案が良いと考える。今治市の特産品が世界に広がる様を表現するほか、今後各地域で何にテコ入れして、何を集約するのかがわかると良い。市内のイベントも盛り込むと楽しさが伝わりやすい。
委員	C案が良いと考える。未来的でワクワクする感じが出ている。既存の施設と未来的な部分とでメリハリがあった方が良い。